

土木学会誌投稿要項

1. 投稿される方は土木学会会員に限ります。
2. 投稿される原稿（以下原稿という）は、すべて土木学会誌（以下学会誌という）の記事としてふさわしく、かつ、土木学会会員が興味をもって読まれるものであって下さい。
3. 原稿は、その内容が正確であり、文意が容易に理解できるものであり、その表現方法は、図、表、写真などを使ってより効果的であるよう配慮して下さい。
4. 原稿は、原則として未発表のものに限り、文中に引用された文献は、必ず文末にその出所を明記して下さい。また、その内容の一部が他誌に発表されている場合も、その旨明記して下さい。
5. 投稿された原稿は、学会誌編集委員会が審査のうえ掲載の可否を決定させていただきます。なお、掲載させていただいた原稿には、別に定める方法により原稿料をさし上げます。
6. 学会誌では、その編集著作権を社団法人土木学会が保有し、掲載された原稿の著作権は著者が保有するものとします。
7. 投稿されるときには、別に定める土木学会誌登稿規則によって下さい。
8. この投稿要項は、昭和 39 年 4 月 1 日より実施致します。

土木学会誌投稿規則

1. 原稿投稿の際には、原則として土木学会原稿用紙を使用して下さい。
土木学会原稿用紙は、横書き 400 字詰（25字×16行）で、実費（30 枚綴り、35 円、郵送料 5冊まで 50 円）で編集部に用意してあります。
2. 投稿される原稿は、その内容によりあらかじめ表-1 のように区分されますので、希望される登載区分を朱記の上、東京都新宿区四谷 1 丁目社団法人土木学会編集部、土木学会誌原稿投稿係までお送り下さい。
3. 投稿されるときには、必ずページ制限をお守り下さい。
4. 土木学会誌は所定の用紙 5 枚を 1 ページとします。なおこの中には、添付される図、表、写真のスペースが含まれますのでご注意ください（対字数かん算表は原稿用紙表紙に明記してあります）。
5. 投稿される原稿は、原則として返却しません。必要とされる原稿は事前にコピーをとっておいて下さい。
6. 投稿に際して不明の点は社団法人土木学会編集部学会誌編集係までご連絡下さい。

表-1 土木学会誌登載区分

登稿区分	ページ制限	内 容
論 説	4	日本の土木界向上のために、広く意見をのべられる欄で、建設的な意見であるとともに、公正な提言を載せる欄です。
報 告	6	土木の分野すべての関係業務やこれに関係する研究、試験の報告を発表する欄です。なお、基礎的な研究などの報告は土木学会論文集が受持ちますのでご注意ください。
話のひろば	4	土木にたづさわる者が、日常、その生活の場で体験される数々の経験などから、会員相互の向上に役立つことを主眼に述べられる欄で、随筆、経験談、体験談、旅行記、提案など広い範囲がこの欄に入ります。
展 望	6	専門各分野の現況、今日の問題点、その他を通常知ることのできない、その他の会員に知っていただくための欄で、この論文を読むことによって、その分野が良く理解できるものを希望します。
資 料	4	会員の直接実務に活用できるもの、またはこれに準ずる利用価値があるもので、類似の資料を収集整理したもの、または、比較のための資料を集成したもので、会員の判断と利用の方法を誤まらないよう注意のうえ書かれたものを載せる欄です。
ニ ュ ー ス	0.3	全国各所で実施されている各種工事などの完成、着工、計画決定などの新鮮なニュースを載せる欄で、できるだけ写真、図などを添付して下さい。締切りは毎月10日着の分を翌月登載とします。なお、登載にあたっては、とく名とすることもできます。
ロータリー	1	土木の関係各分野で活用されるべく案出された各種の機器、工法、新技術などを広く会員の皆様を知っていただく欄で、PR的な性格を持つページです。特に特別会員のご利用を待つページで、その明細については編集部までご照会下さい。
豆 知 識	0.5	土木技術に直接関係するもの、またはこれくらいは知っておきたいというものを簡明にまとめられたものを載せるページです。
読 者 の 窓	0.3	会員が何か不審に思っていること、知りたいこと、会員相互の連絡の場として利用するなど、会員に広く利用していただくページで、質問の解答にはその道の権威が当たります。
文 献 抄 録		土木学会文献調査委員会が毎月学会誌に登載しているものに準ずるもので、その登載決定権は同委員会が持ちます。
巻 頭 写 真		キャビネ版以上の土木学会誌の巻頭を飾るにふさわしい、各種、土木関係の写真をお送りいただきたい。また、写真には、簡単な説明文（約 400 字）を添付して下さい。なお、不採用のときはお返し致します。

(注) 1. 依頼原稿は以上の制限を受けないときがあります。 2. 本規則は委員会の議を経て変更することがあります。

土木学会論文集投稿要項

1. 土木工学に関する理論・実験・設計・計画などの研究論文および創意のある工事の調査、実施の報告であること。ただし、他の発表機関に既発表のものは、そのことを明記し投稿して下さい。
 2.
 - a) 原稿用紙は学会所定のものを使用して下さい。
 - b) 文章は和文、欧文どちらでも結構ですが、文体はなるべく平易で簡潔な口語体を用いて下さい。
 - c) 論文一篇の長さは原則として刷上り 10 ページ (400 字原稿用紙 55 枚) 以内とします。
 - d) 刷上り 10 ページを超過した場合には、著者に超過ページ 1 ページあたり 1 500 円負担して頂きます。
 - e) 図表は必ず墨書し、説明文字は鉛筆書きにして下さい。
 - f) 希望審査部会を参考として書いて下さい。
 - g) 和文要旨、欧文題目、欧文要旨、和文題目を必ずつけて下さい。
 - ① 和文要旨の執筆について
 - I) 和文要旨は学会誌に掲載するため、本論文の内容をわかりやすく記述し、特に応用性に重点をおいて下さい。
 - II) 和文要旨の内容は結論、研究方法・研究結果と考察、応用性を記述することを希望します。
 - III) 和文要旨は図表・写真をふくみ刷上り 1 ページ以内として、上記の 10 ページには含まれません。
 - ② 欧文要旨の執筆について
 - I) 欧文要旨は本文の内容を広く海外へ紹介することを目的とします。
 - II) 欧文要旨の内容は原則的には和文要旨に準じます。
 - III) 欧文要旨は図書・写真をふくみ刷上り 2 ページ以内とし、上記の 10 ページには含まれません。
 - VI) 欧文要旨はそれだけで大体の内容が理解できるよう図表・写真等を通し番号とします。
 3. 投稿原稿は論文集編集委員会に設けられたつぎの 4 部会うちの担当部会において査読し、部会長会において登載の可否、その他を決定致します。なお、部会は次のとおりです。
 - 第 1 部会 (応用力学・構造力学・橋梁工学等)
 - 第 2 部会 (水理学・水文学・河川・港湾・海岸工学・発電水力・衛生工学等)
 - 第 3 部会 (土質力学・基礎工学・土木機械・施工等)
 - 第 4 部会 (鉄道・道路・コンクリートおよび鉄筋コンクリート工学・土木材料・都市計画・空港・測量等)
 4. 原稿には原稿料は支払いませんが、登載論文の抜刷は著者に 50 部まで無料で差し上げます。それ以上希望の方は実費をいただきますから、あらかじめ希望部数を原稿にお書き入れ下さい。
 5. 登載原稿は原則として返却致しません
 6. 登載原稿の著作権は著作者に帰属します。
- 付記 その他に関して疑問の点がありましたら、土木学会編集部論文集編集係にお問合わせ下さい。
なお、論文の校正は原則として一回だけ著者に見て頂くこととなりますが、時期、方法などは、そのつど著者に直接ご連絡申し上げます。